

鳥取城跡の石垣修理

鳥取のサグラダ・ファミリア

文化庁記念物保護施策百周年記念・国史跡鳥取城跡石垣修理工事六十周年記念

鳥取城の石垣は、戦国時代の終わり頃から、江戸時代を通じて段階的に整備されたものです。これらの石垣は、城が本来の役割を終えた明治時代以降も良好に残っていましたが、昭和十八年（一九四三）の鳥取大地震によって崩落十六ヶ所、半壊八ヶ所に及ぶ大きな損傷を受けました。鳥取市では、昭和三十二年（一九五七）の鳥取城跡の国史跡指定を契機として、昭和三十四年より地震で被災した石垣の修理に取り組んでいます。しかし、半世紀以上の時を経た現在も、その修理は継続中です。この経緯から、着上後二世紀を経ても建築を続ける、スペインの世界遺産・サグラダ・ファミリアになぞらえ、鳥取城跡は、「鳥取のサグラダ・ファミリア」と呼ばれています。

国内唯一の球面石垣・天球丸の巻石垣